

タゴシッド TDM キット - IBL

リュウマチ因子 (RF) の影響

試料調製

リュウマチ因子 (RF) 陽性患者血清を正常ヒト血清で RF 力価の希釈段階を調製しさらにテイコプラニン濃度が $35 \mu\text{g/mL}$ と $70 \mu\text{g/mL}$ になるようにテイコプラニンを添加した試料を調製

測定方法及び評価方法

各濃度を TDx アナライザーで測定し対照と比較した

RF (IU/mL)	$35 \mu\text{g/mL}$		$70 \mu\text{g/mL}$	
	測定値平均	%誤差	測定値平均	%誤差
0	37.92		73.88	
171	38.31	101.0	82.99	112.3
257	40.56	107.0	85.96	116.4
400	38.22	100.8	97.32	118.2
500	40.90	107.9	92.98	125.9

テイコプラニンが高濃度に存在するときリュウマチ因子 (RF) の影響で高値に測定される。